

2023年度第3回音環境運営委員会議事録

記録：小柳慎一郎（幹事）

日時：2023年11月9日（木）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：池上雅之（主査）、小柳慎一郎（幹事）、佐藤逸人（幹事）、會田祐、上野佳奈子、川井敬二、安田洋介、古賀貴士、坂本慎一、佐久間哲哉、田中学、辻村壮平、豊田政弘、中澤真司、平光厚雄、星和磨、羽入敏樹（敬称略）

欠席者：濱田幸雄、佐藤洋、富田隆太（敬称略）

提出資料：

- 資料3 2023年度第3回音環境運営委員会__議事次第
- 資料3-0 2023年度第3回音環境運営委員会議事録(案)
- 資料2-1 20231109環境工学本委員会資料
- 資料3-2-1 AIJ音環境運営委員会__中長期的な課題対応メモ
- 資料3-2-2 中長期課題関連メモ（測定法小委）

1) 前回議事録の確認

- ・ 原案通り承認された。（資料 No. 3-0）

2) 環境工学本委員会の報告（資料 No. 2-1）

- ・ 2023年11月9日に開催された環境工学本委員会について池上主査から報告があった。
 - 23年度小委員会活動成果報告書を24年2月15日までに事務局宛てに提出する。1月末まで運営委員会に整理する。
 - 本委員会で大賞業績候補の投票あり橘先生が満票で推薦されることとなった。
 - 24年5月まで学会賞の選考委員を羽生先生が留任、山中先生が留任され環境分野の担当となる。
 - 奨励賞の選考委員会は25年5月まで平栗先生に担当を継続いただく予定である
 - 論文集委員会の推薦に、今まで岡田先生、星先生、富田先生、平栗先生、豊田先生に担当いただいた。任期が本年までの豊田先生の後任については本会の審議事項とする。
 - 技術報告集の委員の推薦は、来年も引き続き森原先生に担当いただく。
 - 若手優秀賞の候補は対象者の比率はおよそ10%と定められるが、対象人数が少ない分野では比率が高いことを許容する。
 - 大会細分類・細々分類の見直しについて音環境では変更なし。
 - 24年大会オーガナイズドセッションは計測技術・測定法とし測定法小委から要旨の提案があり承認された。
 - 集合住宅の音環境性能規準・設計指針（AIJES）の刊行が本日審議の結果承認された。
 - 著作者人格権不行使が環境工学本委員会で合意されたが、拡張排水システム復旧小委員会から反対意見書が提出された。期日を設けて承認された経緯があるものの、反対意見を尊重し再度議論を行うこととなった。
 - シンポジウム「集合住宅の音環境性能に関するAIJES策定に向けて」3月1日（金）の実施計画が承認された。
 - 小委員会・ワーキンググループ廃止／申請書が承認された。音環境規準検討小委員会傘下の集合住宅音環境AIJES検討WGが廃止され、企画刊行運営委員会の下で小委員会として新設される。
 - 環境工学本委員会の次年度予算は全体1500万円であり、音環境運営委の予算は昨年比微増で52万円となった。アクティビティに点数をつけられており音環境運営委の点数は高い。

3) 審議事項

- ・ メール審議済みの案件について池上主査から報告があった。

- a) 音環境運営委員会ホームページ更新（10/2報告済み）小委HPは事務局マター
- b) 委員会活動計画・催し物・刊行企画等提出（10/10運営委員会締切、整理して事務局に提出済み）
- 集住AIJESの刊行予定書は、11/8の環境工学本委員会で審議
- c) 大会投稿時の細分類・細細分類見直し（10/22運営委員会締切、見直しなしで事務局に連絡済み）
- d) 2024年大会OS（10/22運営委員会締切、測定法小委からの提案を事務局に提出済み）
- e) JAABE、JAR実績報告（10/22運営委員会締切、JARの會田さんの投稿を事務局に連絡済み）
- f) ASJからJIS見直しに係る意見伺い（11/8運営委員会締切、結果をASJに報告）

・ 論文主委員会委員の推薦

- 豊田先生が2023年度でご退任のため、音環境から後任を推薦する（12/25事務局へ切）
- 例えば、奥園先生、大嶋先生を候補としてはと考えている。他にも候補があれば池上主査から依頼を出したいと考えている。
- 昨年の森原先生の着任時に第二候補に大谷先生、井上先生、原田先生の名前が挙がっていた。これまでの委員の経緯を勘案し決定していた。
- 技術報告集の履歴も確認すべきである。奥園先生は技術報告集の委員を19, 20年に担当されており本件では適当ではない。
- 昨年、第二候補に挙がった方々に連絡し調整する。

・ 中長期的な課題対応（資料 No. 3-2-1, 2）

- 前回の議論の振り返りを行った。
- 新たに測定法小委から方向があった：委員会外の意見を聞くとよい刺激になるが、1～2分の報告に魅力がないのではと懸念する。魅力のある催し物とセットとするなど工夫が必要。形式的なものになると意見や反応がなく開催する側の労力に見合わない。参加者を運営委傘下の小委・WGに限り互いの活動を知る場になれば活性化につながると思われる。
- 室内音響小委の前回以降に議論を行った。光だと照明規準のJIS Z9110の照度規準がある中でAIJESにガイドラインが提案されている。音環境分野にはJISがないため数値目標を決めAIJES化している。JISがあればAIJESへの取り組みやすくなるのではという意見があった。
- 意見交換の場の必要性は賛同が得られ、負担や効果には不安があるという状況と考える。期待が持てる状況であれば、期間に余裕をもって24年度末を目標に開催することとしたい。
- 以前から活性化方策の議論はある。2年に1回でもシンポジウム等が開催されていけばこういう会を企画する必要もないが減少傾向である。小委員会の設置申請に記載する企画が実施されていけば報告会のような企画は不要だが、企画がなければ場を設けることもよいと考える。定期でなくこの2期に一度やってみるという事から始めてはどうか。
- 過去のシンポジウムでは、専門家だけでなく学生や建築家などの非専門家を引込むためのパネルディスカッションを開催するものが好評であったが現在は減っている。細分化されたテーマではなく音環境分野から大きな枠組みで課題を発信できるシンポジウムを運営委員会が企画するものが良い。
 - ◇ 分野横断的あるいは啓蒙的なシンポジウムの企画のため運営委直下の企画広報WGがある。
 - ◇ 運営委員会の直下の組織なので実働部隊である。具体的な企画案を企画広報WGで検討する。
- 企画広報WGに24年度末の開催を目途に企画案の検討を依頼する。小委から肯定的な意見が多い小委間の情報交換に加えて非専門家との情報交換の企画も検討を行うこととする。

4) 各小委員会・WGの活動報告(資料 No. 2-3)

① 固体音小委員会（平光）

- ・ 前回からの開催なし。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田）

- ・ 欠席のため割愛

③ 建築音響測定法小委員会（會田）

- ・今年度第3回を10月3日に開催
 - ・AIJES刊行の継続性に関するリスクについて議論を行った。
 - ・来年度大会オーガナイズドセッションの企画について議論を行った。様々な切り口の発表を集めたいので計測技術・測定法全般に間口を広げたタイトル、主旨とする方針を決定。発表者候補の検討を行った。
 - ・23年度AIJ, Internoise2023での発表結果の報告を行った。
 - ・音響エネルギー密度を用いた低音域の室内計測法について、数値シミュレーションによるケーススタディを行う企画の議論を行った。
 - ・次回第4回を12月4開催予定
- ④ 室内音響小委員会（上野）
- ・第3回を11月2日に開催。
 - ・主として吸音AIJESの内容について議論を行った。ベースとするDIN、吸音AIJES案の室区分（A, B, C）及び評価指標について意見交換を行った。
 - ・室内音響啓発コンテンツ企画WG：noteについてTwitterやAAMLで発信したところ、閲覧数が2023年9月ごろからそれ以前の10倍ほどに伸びた。引き続き、発信する。
 - ・バリアフリー設計標準への吸音の導入：9/27フォローアップ会議関係者・国交省との懇談会実施。
 - ・次回、音環境の重要性の啓発を主目的としたチュートリアルについて、周辺分野の事例を元に議論する。
 - ・第4回を1月下旬開催で日程調整中。
- ⑤ 音響数値解析小委員会（安田）
- ・第2回委員会を10月5日（木）に開催。
 - ・伝送系データベースの整備：提供可能なデータについて報告。市街地での屋外伝搬、単純な吸音条件の違い、大学講義室の改修前後の結果、床衝撃音解析、CLT構造の振動解析などが挙げられた。
 - ・床衝撃音の数値解析：箱型実験室での実験結果の報告。今後分析を進める。
 - ・ベンチマーク基盤プラットフォーム：有用な形で維持するために、古い情報やデータを削除の上、新規データを募集。
 - ・音響インピーダンスデータ整備：今後の方向性について議論。解析する人の立場に立ったデータの整備、理論計算方法（伝達マトリクス法など）の整備、KATOモデルの検討、音響メタマテリアルの取り込みなど。
- ⑥ 音環境規準検討小委員会（田中）
- ・今年度第3回委員会を10/4（水）に開催した。
 - ・集合住宅音環境および吸音設計の各AIJES案の検討状況を共有した。集合住宅音環境AIJESについては2023年度に刊行小委員会を設置する方針。また、2024年3月1日に音環境シンポジウムを開催予定。なお、吸音設計AIJESについては、2024年度の刊行小委員会の設置は見送ることが報告された。
 - ・既刊の学校施設音環境AIJESに関する情報共有と、今後のAIJES整備に向けて検討状況の整理を行った。
 - ・傘下の集合住宅音環境AIJES検討WGは、10/27（金）に執筆委員9名も加わる拡大WG会合を開催した。DS案の具体化に向けて、室内静ひつ性能や床衝撃音など各論の議論を進めている。
 - ・今年度第4回委員会は、12月13日（水）に開催予定。
 - ・傘下のAIJES検討WGは、次回11/20（月）に開催予定。
- ⑦ 企画・広報 WG（星）
- ・前回から開催なし。
 - ・次回議題
 - ・アンケート結果を踏まえた、WGの今後の活動内容
 - ・中長期的な課題対応についての意見交換
 - ・建音検索の整備
- ⑧ 実用的遮音計算方法WG（古賀）
- ・今年度第3回WGを10/6に開催した。

- ・ 刊行小委員会へは移行せず、来年度も継続してWGとしての活動を継続する。
 - ・ 第5回WGを12月15日(金)に開催予定。
 - ・ 予定通り執筆活動には着手していく。
- ⑨ 子どものための音環境WG (川井)
- ・ 前回からWG会合は開いていない。
 - ・ 来年度計画している「第83回音シンポジウム 保育・特別支援教育のための建築音響設計」の企画書を提出し、登壇者について検討を進めている。
- ⑩ 環境心理生理運営委員会 (辻村)
- ・ 報告は特になし
 - ・ チュートリアル、他分野との連携について小委間をつなぐ等の手伝いや情報提供ができるので相談頂きたい
- ⑪ 環境振動運営委員会 (富田)
- ・ 欠席のため報告なし
- ⑫ 司法支援建築会議 (中澤)
- ・ 12/12に第23回司法支援建築会議講演会が開催される。内容・講演者をお招きして内容(建築と建築紛争の関係と対応、防火・耐火を中心に)を普及交流部会10/24で確認した。
- ⑬ ASJ建音研
- ・ 11月熊本大、12月秋田、1月オンライン、2月休会、3月大阪での開催を予定している。詳細はHPで確認できる
- ⑭ ISO(佐藤洋)
- ・ 欠席のため割愛
- 5) その他
- ・ 特になし
- 6) 他学会・研究会の予定
- ・ 日本音響学会建築音響研究会
 - 先の報告の通りで研究会の開催を予定
 - ・ 日本音響学会騒音・振動研究会
 - 報告なし
- 7) 締め切り関係
- 特になし
- 8) 今後の開催予定
- 第4回：2024年1月09日(火) 17:00～19:00
- 第5回：2024年3月12日(火) 17:00～19:00

以上